

知的・発達障がいのある子どもへの 性暴力防止連続セミナー

2023

障がいのある子どもへの性暴力に私たちの社会が気づくことは容易なことではありません。性暴力自体が隠され、当事者が沈黙を強いられているという問題に加えて、障がいに対する誤った社会通念が存在するなどの要因のためです。

CAP センター・JAPAN では知的・発達障がいのある子どもたちの人との交流安全のための CAP プログラム、バウンダリー（境界）を育むサークルズプログラムといった予防教育に取り組むうえで、障がいのある子どもへの性暴力に関する絡まった問題を解きほぐし、子どもへの性暴力の発覚（疑いを含む）というファーストステップに立つ可能性のある人が力を発揮して支援できるよう、障がいのある子どもの人権をベースにした予防的観点という土台をつくる講座を昨年度に引き続き開催します。

本講座はオンライン講座です（Zoom を使用）

- *グループセッションを取り入れながら進めていきますので、原則としてマイクオン・カメラオンでご参加ください。
- *復習用のオンデマンド配信をご希望の場合は、お申込ください。

	日程	時間はすべて 10:00～12:00
ゼロベース I	7月23日(日)	なぜ知的・発達障がいのある子どもへの性暴力防止に取り組むのか
ゼロベース II	8月20日(日)	子どもの人権をベースにした性暴力防止のフレームを共有する
第 1 回	9 月 24 日(日)	当事者とつながる(1)―性暴力被害を受けた子ども
第 2 回	10 月 22 日(日)	当事者とつながる(2)―性加害行動をする子ども
第 3 回	11 月 19 日(日)	子どもの身近なおとなとつながる(1)―家族
第 4 回	12 月 17 日(日)	子どもの身近なおとなとつながる(2)―社会資源・仲間・自分とつながる
第 5 回	2024 年 1 月 28 日(日)	予防的観点でできること―4 つの C の具体的取組みを知る

※なお、本連続セミナーについては、当日参加できなかった場合にオンデマンド配信の視聴があります。ただし、すべてオンデマンド配信のみでの参加はできません。
※資料は事前に URL をお知らせし、ダウンロードしてご準備いただくことになります。

参加費

全回参加 7,000 円(消費税込み)

復習用のオンデマンド配信をご希望の場合は、追加で 1,000 円(消費税込み)をお支払いください。オンデマンド配信は期間限定です。期間を過ぎると視聴できません。

定員 20 人

対象 知的・発達障がいのある子どもと日常的に関わる支援者(教職員・学童保育・放課後等デイサービススタッフなど)

【注意事項】

※申込み確定後お送りする、事前アンケートにお答えいただくことが必須となります。

※大阪府人権協会による休眠預金活用事業として実施するため関西地区の方を優先することをご了承ください。

講師チーム

CAP (子どもへの暴力防止) スペシャリスト

「障がいのある子どもへの CAP」で障がいのある子どもへの暴力防止に取り組んできた CAP スペシャリスト。今回の休眠預金等活用事業において結成された「知的・発達障がいのある子どもへの性暴力防止事業」プロジェクト 2023 チームメンバー。

本事業は、休眠預金等活用法に基づく、一般財団法人大阪府人権協会による人権 NPO 協働助成を受けて実施しています。事業実行団体：
NPO 法人 CAP センター・JAPAN



いっ ばん ざい だん ほう じん おお せいか み じん けん きょう かい
一般財団法人 大阪府人権協会



講座概要

ゼロベース I	障がいのある子どもへの性暴力防止に取り組む必要性などを本事業開始前のアンケート結果などを元に考え、性暴力とは何かを捉え直し、めざすゴールを確認する連続セミナーの土台づくりの1回目です。
ゼロベース II	子どもの人権侵害であり、バウンダリー(境界)の侵害である性暴力を適切に捉えるための性的発達などの基礎的知識、さらにトラウマインフォームドケアについてフレームを押える、連続セミナーの土台づくりの2回目です。
第1回	性暴力被害を受けた(受けた疑いのある)障がいのある子どもの支援について、その実態、性的虐待順応症候群、性暴力被害の気づく手がかり(子どものサインや疑いをもったときのアプローチ・子どもの話の聴き方など)を確認し、日常生活における性暴力被害の悪化防止・再発防止の取り組みのアイデアを広げます。
第2回	性加害行動をした(可能性のある)障がいのある子どもの支援について、ファーストステップに立つ私たちが持っておきたい知識・スキル・情報(子どものサインや疑いを持ったときのアプローチ・子どもへの声かけなど)を確認し、日常生活において性加害行動を繰り返さないための悪化防止・再発防止の取り組みのアイデアを広げます。
第3回	子どもの性暴力被害・性加害行動をきっかけに、それぞれの家族とつながるために必要な知識・スキル・情報を確認し、家族と協働して子どもを支援するアイデアを広げます。障がいのある子どもの家族の置かれている状況についても考えていきます。
第4回	性暴力防止に関する制度や法律について確認し、根拠(制度や法律)と予防的観点(未然防止・発生防止・悪化防止・再発防止)を持ち、活用・協働できる社会資源を確認します。当事者・家族・支援者が孤立せず、ネットワークで希望を持ち、具体的で、継続性、一貫性のある取り組みをすること、できることを考えます。
第5回	日常でできる障がいのある子どもへの性暴力の未然防止・発生防止のための予防的観点での取り組みをご紹介します。(CAPプログラム・サークルズプログラム/バウンダリー(境界)を育むプログラムなど)個人でも、集団でも、家族で、職場で取り組めるアイデアを広げます。

※性暴力防止を考えるとときに早期発見・早期支援、さらには回復等においても、障がいのある子どもとのコミュニケーションは重要で、それは日常がカギを握っています。そこで、毎回最後に「コミュニケーション支援」に関する15分程度のコーナーを設け、支援者があきらめない、障がいのある子どもにあきらめさせないコミュニケーションについてアイデアを広げていきます。

お申込み

以下の Google フォームからお申し込みください。
申込み確定後、ご登録のメールアドレス宛に『事前アンケート』をお送りします。必ず回答をお願いいたします。申込締め切りは**7月14日(金)**までです。

参加できない場合は必ず事前に
キャンセルをお願いいたします。



参加お申込み：

<https://forms.gle/omt3EzH4xbd3S2qb8>

NPO 法人

CAP センター・JAPAN

キャップ

ジャパン

子どもへの暴力防止に関する社会教育の推進・啓発活動、CAP(キャップ・子どもへの暴力防止)プログラム実践者の養成などを行っています。CAPプログラムの普及を通して、子ども自身の人権意識をはぐくみ、また家庭や学校、地域の連携を促進することで、子どもへのあらゆる暴力を許さない社会、子どもの人権が尊重される社会の実現をめざしています。

〒545-0051

大阪府大阪市阿倍野区旭町 2-1-1-104

TEL: (06)6648-1120

FAX: (06)6648-1121

<http://cap-j.net/>

